

一般・社会人学生

【共通教養基盤の形成】

「ことば」を、本学における学びの全てに共通する学修キーワードとして探求し、多文化共生社会における「ことば」の重要性を理解したグローバル人材育成の教養基盤を形成します。4年間にわたって、「ことば」をテーマにした必修科目および選択必修科目で学びます。詳細は2-29を参照してください。

【主専攻プログラム登録制度】

グローバル英語プログラム、中国語・中国文化プログラム・教員養成プログラムの3つから、志望にあったプログラムを主専攻プログラムとして登録し、効果的に学修をすすめます。

【実践的な語学教育】

英語、中国語を集中的に学ぶ、グローバル英語プログラム、中国語・中国文化プログラムの2つの語学プログラムを設置しています。1年次には、2つのプログラムの必修科目を学び、2年次から登録した主専攻プログラムで集中的に英語、中国語を学びます。

【教員養成プログラム】

規定の単位を修得することで、英語または国語の教育職員免許状（中学校・高等学校教諭1種）を取得することができます。本学の特色を活かしたきめ細かい教育で教職への夢をサポートします。

【語学研修・海外留学】

語学力と総合的なコミュニケーション力、異文化への理解を深めるため、アジア語学研修、提携校留学プログラムへの参加を奨励しています。詳細は4-1を参照してください。

【日本文化を基盤とする幅広い教養教育】

日本を正しく理解することは異文化理解への第一歩です。本学では、日本文化を中心に幅広く教養教育科目を開講しています。

【アカデミアゼミ】

3年次以降に専門教育科目群の中に設置された研究室単位の科目です。ここで自ら課題を設定して専門的な研究を行い、プレゼンテーションや研究レポートを作成し、自分の意見を正しい言語で表明できる能力を養います。詳細は2-23を参照してください。

【進級制度】

本学における学修の質保証の観点から、進級制度を導入しています。詳細は2-14を参照してください。

2-1 学期

1. セメスター制

本学はセメスター（学期）制を採用しており、1年は春期・秋期の2セメスターに分かれています。本学の科目は原則として、1セメスター15週＋定期試験で完結します。ただし科目の中には、休暇中に開講されるもの（集中講義科目）もあります。

2. クォーター制

一部の科目で効率よく学修成果をあげるために、各セメスターの前半のみ、または後半のみに集中的に1セメスター分（15コマ）の学修を行なうクォーター制も導入しています。詳細は2-19を参照してください。また対象科目は2-29（備考）を参照してください。

2-2 学籍

本学の修業年数は4年とし、在学年数は8年まで認められます。ただし、休学期間は在学年数に含まれません。学籍の異動は必要な書類が提出された場合、教授会において審議します。学籍異動の区分は次のとおりです。

1.休学

- ・病気や経済的理由など、やむを得ない理由により学修の継続が困難であると判断される場合とし、一度の休学期間は1年を越えることはできません。事前にゼミ指導教員または教学部と面談した上で、休学願を教務課に提出してください。
- ・教授会が特に認めた場合を除き、休学可能な期間は、学期を単位として通算2学年度以内となります。
- ・休学中は在籍料（半期50,000円）を必要とします。

2.復学

休学期間を終えて復学する場合は、学期が始まる前月（3月、8月）までに復学願を教務課に提出してください。

3.退学

事前にゼミ指導教員または教学部と面談した上で、退学願を教務課に提出してください。

4.除籍

所定の期日までに学納金が納入されない場合、学則に基づいて除籍となります。

5.再入学

- ・退学または除籍した者が卒業を目的として再入学することができます。
- ・再入学の可能な期間は、退学または除籍日から2年以内です。
- ・除籍の場合は、除籍の日から1年以内に未納の授業料を納付した者を対象とします。
- ・再入学希望者は、再入学試験を受験し、合格した場合再入学が認められます。

2-3 学籍番号・学生証

(1)学籍番号

学籍番号は8桁の数字です。様々な機会で使用しますので覚えてください。

学籍番号の意味（122-1001の場合）		
122	1	001
↓		↓
入学年度	入学区分	連続番号
	1 一般	
	2 留学生	
	3 編入学	
	8 社会人	

(2)学生証の提示

学生証は本学の学生であることを証明するものです。常に携帯し、本学教職員から請求があった場合は提示しなければなりません。また、試験を受験する際および証明書発行等の手続きの際に必要です。学生証は悪用されることがありますので、紛失、盗難、汚損などのないよう取扱いには十分注意し、大切に保持してください。

次の場合は必ず提示しなければなりません。

1)試験を受けるとき。

学内試験時に学生証を持参していない場合は、教学部で仮学生証発行手続きを行うこと。※ 発行手数料：1,000 円

2) 図書館で図書を借りるとき。

3) 各種証明書、通学証明書、学生旅客運賃割引証（学割証）等の発行申請時。

また、それらを使用して乗車・乗船した際に係員から提示を求められたとき。

4) 体育館等の施設使用、部室の使用、及び貸出し物品の貸出しを受けるとき。

5) 本大学教職員から提示を求められたとき

(3)記載事項の変更

氏名、住所など記載事項に変更が生じた場合は、許可なく抹消したり改めたりせず、学生課に届け出てください。

(4)学生証の返還

次の事項のいずれかに該当する場合は、直ちに返還しなければなりません。

1) 退学、除籍により本学学生の身分を離れたとき。

2) 再交付後に、旧学生証が見つかったとき。あるいはカード不良による無料交換のとき（旧学生証を返還）。

(5)その他

1) 紛失した場合または盗難にあった場合は、直ちに最寄りの警察へ届け出るとともに、学生課で再交付の手続きをしてください。再交付には手数料が必要です。

2) 裏面の通学証明書の使用回数が上限に達した場合は学生課に申し出てください。

3) 他人に貸与または譲渡してはなりません。

2-4 シラバス（授業計画書）・オフィスアワー・年間行事予定（アカデミックカレンダー）

(1)シラバス（授業計画書）

シラバス（授業計画書）には、各年度開講される授業科目について、授業の概要と目的・事前事後学習・授業の内容・授業形態・成績評価方法・テキスト・参考資料文献等が記載されています。履修登録前に確認してください。学生用ポータルサイトでシラバス(授業計画書)の検索・閲覧ができます。

(2)オフィスアワー

本学では、教員が研究室に在室する「オフィスアワー」を設けています。オフィスアワーは学生用ポータルサイトに掲載されていますので、講義についての質問や、専任教員へ相談したい場合に利用してください。

(3)年間行事予定について

年間行事予定については、学生用ポータルサイトに掲載されているアカデミックカレンダーで確認してください。

2-5 授業

授業は春期と秋期の 2 つのセメスター（学期）に分かれています。授業が行なわれる期間は、春期 4 月から 7 月下旬、秋期 9 月下旬から 1 月下旬です。詳細はアカデミックカレンダーで確認してください。

1 時限	2 時限	3 時限	4 時限	5 時限
9 : 20 ~ 10 : 50	11 : 00 ~ 12 : 30	13 : 20 ~ 14 : 50	15 : 00 ~ 16 : 30	16 : 40 ~ 18 : 10

2-6 単位と学修時間

大学における授業はその学修量を「単位」という言葉で表します。それぞれの授業は 45 時間の学修＝1 単位として計算します。学修時間は教室内での授業時間の他に、教室外（図書館、自宅、下宿等）で行う予習復習等の時間も含んで計算されています。卒業のため、また資格取得のためには、それぞれに定められた「単位数」分の学修が必要となります。

本学では、授業時間外に必要な学修を考え、以下のとおり単位数を計算しています。

単位認定の根拠となる学修時間は、1 時間の授業に対し 2 時間の自学自習です。指定教科書による自学自習と授業の完全履修を求めます。完全履修とは、授業に皆出席し、定期試験を受験することです。

授業区分	単位数	教室内	教室外	回数	学修時間
講義・演習	2 単位	2 時間	4 時間	15 回	90 時間
実習・演習	1 単位	2 時間	1 時間	15 回	45 時間

※ 90 分授業は 1 時限 2 時間として計算しています。

2-7 休講・補講

授業はアカデミックカレンダーに従い 15 週を完全実施しますが、やむを得ない事情により休講となった場合は補講を行ないます。補講はアカデミックカレンダーに記された補講期間のほか、通常授業期間の 5 時限に実施されることもあります。休講・補講についてのお知らせは、掲示板または学生用ポータルサイトで確認してください。

2-8 天候や交通ストライキ等による休講

警報発令に伴う措置については、学生用ポータルサイトおよび大学ホームページに掲載されます。

(1) 「警戒宣言」が発せられた場合

「警戒宣言」とは、内閣総理大臣が大規模地震対策特別措置法にもとづき、緊急に防災対策をとる必要があると認めた場合に発する宣言で、いわゆる「地震警報」をいいます。

- A. 発令当日：授業開始以前に発令された場合は、授業は行ないません。授業開始以後に発令された場合は、発令があった時から授業を行ないません。
- B. 発令以降：警報が解除されるまで授業を行ないません。
- C. 解除当日：午前 7 時までに解除された場合、平常授業を行ないます。午前 11 時までに解除された場合、午後は平常授業を行ないます。

なお、地震防災対策強化地域判定会招集についても、招集を発令と読みかえて同様の措置をとります。

(2) 「暴風警報」が発せられた場合

- A. 愛知県西部に警報発令中は授業を行ないません。

B. 午前 7 時まで解除された場合、平常授業を行ないます。午前 11 時まで解除された場合、午後から平常授業を行ないます。授業開始以後に発令された場合は、発令があった時から授業を行ないません。

(3) 交通機関が正常に運行しない場合

J R 中央本線が不通となるなど、大学への主要な交通機関が正常に運行しない場合でも、原則として授業を行ないます。ただし、早期の復旧が望めない場合など状況により、授業開始時刻を遅らせたり休講にしたりすることがあります。鉄道等交通機関が不通の場合は、駅窓口などで遅延証明書等を取得し、後日提出できるように準備しておいてください。

2-9 出席の確認

すべての授業で出席を確認します。定期試験を受験するためには、欠席が授業実施回数の 5 分の 1 以内でなければなりません。定期試験を受験できなければ、その科目の単位認定はされませんので注意してください。なお、遅刻は授業開始時間から 20 分まで認められ、遅刻 3 回で欠席 1 回とみなされます。

就職活動や課外活動等による欠席は、所定の手続きを行ない「公欠」と認められた場合は、出席と同様の扱いとします。しかし、定期試験を受験するためには、公欠は授業実施回数の 3 分の 1 以内でなければなりません。詳しくは、「出席、遅刻、公欠等の取扱いに関する規程」を熟読してください。

2-10 試験

試験には、定期試験、追試験、再試験があります。各試験の実施概要は次の通りです。

1. 定期試験

各セメスター（学期）末にアカデミックカレンダーの日程に基づいて実施されます。

2. 追試験

定期試験を忌引、疾病、列車等の遅延、事故等で欠席した学生を対象として、追試験受験を許可することがあります。欠席理由を証明する公的な書類（医師の診断書等）がなければ、受験は認められません。指定期間に教務課で公的な書類を添えて受験申請してください。

3. 再試験

定期試験及び追試験の結果、不合格になった者のうち、成績評価が D（40 点以上 60 点未満）である場合、当該学期において再試験を受けることができます。再試験を希望する者は、所定の期日までに「再試験願」に再試験受験料を添えて教務課に提出してください。

2-11 成績評価と G P A

(1) 成績評価と単位

成績評価と単位認定は、定期試験の評価に加えて、日頃の受講態度（平常点）、出席状況、レポート等課題の内容を総合して判断します。評価は、各科目のシラバス（授業科目概要）に記載された成績評価基準によります。D、E および X と評価された場合には単位認定されません。

グレーディング	判定基準
S (4)	評価点 90 点以上、その科目において要求されている特に優秀にして創造性に富む成績
A (3)	評価点 80 点以上 89 点以下、その科目において要求されている優秀な成績
B (2)	評価点 70 点以上 79 点以下、ほぼ満足すべき成績
C (1)	評価点 60 点以上 69 点以下、合格と認められる最低水準の成績
D (0)	40 点以上 60 点未満、合格とは認められない成績だが、再試験の受験は可能
E (0)	40 点未満、合格とは認められない成績。再試験の受験は不可。
X (0)	1 セメスターの授業 15 回のうち 4 回以上欠席した場合および試験を受験しなかった場合

() の数字はグレーディングポイント

以下の実習科目は「合格」、「不合格」のみで成績評価され、「合格」の場合、単位が認定されます。

インターンシップ A、インターンシップ B、インターンシップ C、インターンシップ D、ボランティア A、ボランティア B、海外実習 A、海外実習 B、海外実習 C、海外実習 D、教育インターンシップ A、教育インターンシップ B、e-Tandem Learning 中国語 A、e-Tandem Learning 中国語 B

(2) GPA(Grade Point Average)について

① GPAの目的

GPA(Grade Point Average = 評価点平均)は「履修科目単位 1 単位あたりの成績平均」です。これにより「学修の成果」を数値化して把握することが可能となります。GPAは、アカデミアゼミの所属 (2-23)、奨学金給付や表彰者決定などの選考基準になります。

② 算出方法

次の計算式により単位あたり平均を算出します。

$$GPA = \frac{[(\text{科目の単位数}) \times (\text{その科目で得た評価点})] \text{の合計}}{(\text{履修登録した単位数}) \text{の合計}}$$

履修登録しながら受講しなかった、あるいは途中で受講をやめた場合も X 評価となり、GPA が低下します。履修登録の際には、この点に十分注意してください。また、履修を取りやめる場合は、必ず所定の期間に手続きを行なってください (2-17 参照)。

③ GPAに算入されない科目

次の科目の成績は GPA に算入しません。

分 野	科 目 名
体育科目	体育実技A、体育実技B、体育実技E、体育実技F
書道科目	書道A、書道B
合否判定科目	インターンシップA、インターンシップB、インターンシップC、インターンシップD、ボランティア A、ボランティア B、海外実習A、海外実習B、海外実習C、海外実習D、教育インターンシップA、教育インターンシップB、e-Tandem Learning 中国語 A、e-Tandem Learning 中国語 B
教員免許取得に関する科目	開設科目一覧に「卒業要件に含めず」と記載された科目
認定科目	他大学等で修得し、本学で単位認定された科目

④ 算出期間と表記桁数

GPAはセメスター（学期）ごとではなく、入学時から通算で算出します。表記は小数以下 2 桁（3 桁目を四捨五入）までです。

2-12 不正行為

試験で不正行為を行った場合の処置は次のとおりです。

- ・愛知文教大学人文学部試験規程第 5 条に基づき、その期の試験の科目は全て不合格とします。なお、定期試験（全学一斉で行う前期末試験、学年末試験）とは別に教員により行われる中間試験や授業期間内試験などにおいて不正が行われた場合も処分の対象となります。
- ・不正行為を行った場合は、学則第 52 条に基づき、退学、停学などの懲戒処分をうけることがあります。
- ・学籍簿に不正行為を記載し、不正行為者として掲示により公表します。
- ・教学部の指導を受け、顛末書および反省文を提出します。
- ・奨学金や住宅費助成など大学からの支給金はすべて停止します。

2-13 成績評価調査制度

成績評価が間違っていると思われる十分な理由がある場合に、成績評価に間違いがないか、科目担当教員に確認を求めることができます。ただし、成績の再考を求めるものではありません。調査を希望する場合は指定期間内に次の手続きをしてください。

- (1) 調査申請受付期間：成績発表日から 5 日以内（休日・祝日を除く平日 9:00～17:00）
- (2) 申請方法：教務課で「成績評価に関する質問書」を受け取り、必要事項を記入の上、教務課に提出してください。

2-14 進級要件

3 年次に進級するためには、以下の要件を満たさなければいけません。

- (1)休学期間を除き、入学後 2 年間(4 セメスター) 在学していること。
- (2)入学後 2 年間（4 セメスター）、2 年次編入学生の場合は入学後 1 年間（2 セメス

ター) の通算 GPA が 0.40 以上であること。

2-15 卒業要件

(1) 4 年以上在学すること

(2) 卒業所要単位数

科目群	卒業所要単位数
教養教育科目群	40 単位以上
うち必修科目	30 単位
選択必修科目	2 単位
専門教育科目群	60 単位以上
うち必修科目	30 単位
共通選択必修科目	6 単位
主専攻選択必修科目	
グローバル英語プログラム	16 単位
中国語・中国文化プログラム	20 単位
教員養成プログラム	14 単位
合計	124 単位以上

(3) 必修科目および選択必修科目

開設科目一覧に記載の必修科目および選択必修科目のすべてを修得すること。

(4) 卒業の要件による科目の分類 <2-29 開設科目一覧 必修・選択区分欄参照>

分類	規定
必修科目	必ず単位修得しなければならない科目
共通選択必修科目	いくつかの科目の中から選択して卒業要件上の必要単位数を必ず修得しなければならない科目
主専攻選択必修科目	登録した主専攻プログラムの必修科目群から選択して卒業要件上の必要単位数を修得しなければならない科目
選択科目	適宜選択して単位修得する科目
必履修	単位修得の必要はないが、修了試験を受験しなければならない科目

2-16 履修登録単位の上限

適切に授業科目を履修するため、セメスターごとの履修登録可能単位数は 22 単位を上限としています。ただし、下記の科目は履修登録上限に含めません。また、入学後の通算 GPA が 3.20 以上の場合は、

次学期の履修登録可能単位数の上限を 26 単位とします。なお、その場合でも各年次の履修登録単位数が 50 単位を超えてはいけません。

履修登録上限に含まない科目一覧
インターンシップ A、インターンシップ B、インターンシップ C、インターンシップ D、ボランティア A、ボランティア B、海外実習 A、海外実習 B、海外実習 C、海外実習 D、卒業論文、「卒業要件に含めず」と記載された科目（2-29 開設科目一覧備考参照）

2-17 履修登録・修正・取消

- (1) 履修登録は指定の履修登録期間、履修登録修正期間に行ってください。期間内であれば何度でも変更可能です。
- (2) 履修登録は、学生用ポータルサイトから行ってください。ただし、他大学での開講科目については、教務課窓口で登録してください。
- (3) 履修登録の方法は、オリエンテーションおよび各セメスター終了後保護者宛に送付する資料で説明します。
- (4) 履修登録修正期間には、履修登録した科目の変更、取消、追加が可能です。
- (5) 授業科目によっては、教育環境の充実、教室定員の都合により、受講定員を設定する場合があります。応募者が定員を超えた場合は、抽選となります。
- (6) 履修するクラスを指定する場合があります。クラスが指定されている場合、それを変更することはできません。
- (7) 履修登録後、登録確認期間中に必ず登録結果を確認してください。登録されていない科目は履修することはできません。確認期間後は、確認済みとみなし修正は受け付けませんので注意してください。

2-18 必修科目・必履修科目

必修科目を指定セメスター（学期）ないしは年次に単位修得しなかった場合、その後の履修に大きな影響が出ます。必ず指定セメスターないしは年次に単位修得してください。指定セメスターないしは年次に単位修得できなかった場合には、次年度以降卒業年次までに履修してください。

必履修科目は、単位修得できなくても卒業等に影響はありませんが、必ず指定セメスターないしは年次に履修して修了試験を受験してください。

2-19 授業形態

授業形態	内容
通常授業	各セメスターの授業期間中、毎週 1 回指定の曜日・時限に開講
集中講義	長期休暇中など指定の期間に、集中的に 1 セメスター分（15 コマ）の学修を行なう講義
クォーター科目	各セメスターの前半のみ、または後半のみに集中的に 1 セメスター分（15 コマ）の学修を行なう科目。週 2 回開講。

2-20 履修条件・履修制限科目

科目によっては、適正な人数やレベルを設定して授業の水準を保つ必要があります。そのため、特定の科目の単位修得や、一定の語学レベルに達していることなど履修の条件がある科目があります。また、履修制限科目とは、試験その他の手段で履修水準に達していないと判断された場合は履修不可となる科目です。履修制限については、シラバスに記載されています。履修登録の際には必ずシラバスを確認してください。

2-21 履修順位について

表記区分	履修順位等の規定
科目名称にⅠ、Ⅱ、Ⅲとローマ数字がつく科目	原則としてⅠ、Ⅱ、Ⅲ・・・の順に履修してください。
科目名称にA～Fとアルファベットがつく科目	履修の順番はありません。ただし、必修科目ではAを先に履修し、単位修得してください。
時間割およびシラバスにおいて科目名称に1、2、3...という算用数字がついている科目	これらは同じ科目で、算用数字はクラスを表します。同一科目ですので、複数クラスを履修したり、単位修得することはできません。 例) 「Basic English 1」と「Basic English 2」は同じ科目

2-22 同一科目の複数回履修について

単位を修得した科目を再び履修および単位修得することはできません。単位を修得できなかった科目は、次年度以降再び履修することができます。

2-23 「アカデミアゼミ」「卒業研究」「卒業論文」について

「アカデミアゼミ」（3、4年次対象）は、研究したいテーマについての知識を身につけ、研究を進めていくためのゼミナールです。「アカデミアゼミ」では、学生は専任教員いずれかの研究室に所属しますが、希望者が定員を超える場合は選抜となります。選抜はGPAによって行います。希望するゼミナールに所属するために2年次までの学修状況や成績が大変重要です。登録は2年次秋期に行ないます。なお、3年次に進級しない学生はアカデミアゼミを履修することができません（2.14 進級要件参照）。

「アカデミアゼミ」では「卒業研究」および「卒業論文」の作成を行ないます。卒業研究や卒業論文の作成は、知識を得るだけでなく論理的思考や独創性などを養うものであり、大学での学びの成果を形として残すことができます。就職活動において卒業研究や卒業論文についての質問がある場合もあります。なお、「卒業論文」は卒業必修ではありませんが、大学院に進学する場合には必要となりますので作成してください。

アカデミアゼミは、以下のスケジュールで行われます。

- ① アカデミアゼミ A では、研究分野の概要や基礎的な知識、研究方法を学びます。学期末にレポートを提出します。
- ② アカデミアゼミ B では、卒業研究の計画やテーマを決定していきます。学内発表会（12月）で発表を行ない、学期末にレポートを提出します。

- ③ アカデミアゼミ C では4月に卒業研究の計画書を提出し、それにもとづいて研究を進めていきます。学期末にレポートを提出します。
- ④ アカデミアゼミ D では研究を完成させ、学内発表会（11月下旬～12月初旬）で最終発表を行ない、学期末に最終レポート（卒業研究）を提出します。
- ⑤ 卒業研究をさらに本格的に論文にしたい場合は、卒業論文を作成することもできます。卒業論文を執筆する場合は、アカデミアゼミ C 開講後、テーマを提出します（第4ゼミ期にテーマ変更、取り下げ可）。

2-24 入学前学修に対する単位認定

本学が指定する資格を入学前 3 年間に取得した者は、所定の手続きにより卒業のための単位として認定されます。希望する場合は、申請書に必要事項を記入し、合格証など学修の成果を証明する公的な書類を添えて入学した学期の通常授業最終日まで事務局教務課に届け出てください。ただし、この制度は社会人学生には適用されません。

入学前に取得した資格の単位認定

種目	資格検定試験の名称	主催団体名	科目名（カッコ内は単位数）	認定単位数	認定級位
ワードプロセッサ	日本語ワープロ検定（文部科学省後援）	日本情報処理検定協会	教養教育科目群	1	2 級以上
情報技術	情報処理技能検定（表計算）（文部科学省後援）	日本情報処理検定協会	教養教育科目群	1	2 級以上
英語 ⁽¹⁾	全商英語検定	公益財団法人全国商業高等学校協会	教養教育科目群	2	2 級以上
	実用英語技能検定（文部科学省後援）	公益財団法人日本英語検定協会	専門教育科目群	4 3	1 級 準 1 級
			教養教育科目群	2 2	2 級 準 2 級
中国語 ⁽²⁾	中国語検定	一般財団法人日本中国語協会	検定対策中国語講座 HSK2 級	2	準 4 級以上
中国語 ⁽²⁾	HSK（漢語水平検定）	一般社団法人日本青少年育成協会	検定対策中国語講座 HSK2 級	2	2 級以上
漢字	日本漢字能力検定	公益財団法人日本漢字能力検定協会	教養教育科目群	2 2 1 1	1 級 準 1 級 2 級

					準2級
文書デザイン	文書デザイン検定（文部科学省後援）	日本情報処理検定協会	教養教育科目群	1	2級以上
マナー	マナー検定	全日本マナー検定協会	教養教育科目群	1	初級以上

（１）「全商英語検定」と「実用英語技能検定」の両方を取得している場合は、単位の多い方のみを認定し、6単位を最大とする。

（２）「中国語検定」と「HSK(漢語水平検定)」の両方を取得している場合はどちらか一方の単位を認定する。

2-25 在学中に取得した資格の単位認定

本学が指定する資格を在学中に取得した者は、所定の手続きにより卒業のための単位として認定されます。希望する場合は、申請書に必要事項を記入し、合格証など学修の成果を証明する公的な書類を添えて学期の通常授業最終日までに事務局教務課に届け出てください。

種目	資格検定試験の名称	主催団体名	科目名（カッコ内は単位数）	認定単位数	認定級位
ワードプロセッサ	日本語ワープロ検定（文部科学省後援）	日本情報処理検定協会	教養教育科目群	1	2級以上
情報技術	情報処理技能検定（表計算）（文部科学省後援）	日本情報処理検定協会	教養教育科目群	1	2級以上
英語（１）	実用英語技能検定（文部科学省後援）	公益財団法人日本英語検定協会	専門教育科目群	4 3	1級 準1級
	TOEIC	国際ビジネスコミュニケーション協会	専門教育科目群	4 3 2	①860以上 ②730以上 ③550以上
中国語（２）	中国語検定	一般財団法人日本中国語協会	専門教育科目群	2	4級以上
	HSK（漢語水平検定）	一般社団法人日本青少年育成協会			3級以上
漢字	日本漢字能力検定	公益財団法人日本漢字能力検定協会	教養教育科目群	2 2 1	1級 準1級 2級

				1	準2級
文書デザイン	文書デザイン検定（文部科学省後援）	日本情報処理検定協会	教養教育科目群	1	2級以上
マナー	マナー検定	全日本マナー検定協会	教養教育科目群	1	初級以上

備考：（１）「実用英語技能検定」と TOEIC はどちらかのみでの認定とする。英検、TOEIC とも 2 回までの認定とする。また TOEIC の①～③までの基準はそれぞれ 1 回のみの認定とする。

グローバル英語プログラム主専攻の学生は「選択必修科目群」での認定とする。

（２）「中国語検定」と「HSK」の両方取得している場合、同等級（「中国語検定」＝「

HSK」：4 級＝3 級、3 級＝4 級、2 級＝5 級、準 1 級・1 級＝6 級）のどちらか一方

のみとする。また、最大 4 単位までとする。中国語・中国文化プログラム主専攻の学生は「選択必修科目群」での認定とする。

2-26 インターンシップ

インターンシップとは、学生が在学中に将来のキャリア（職業）に関連した就業体験を行うことであり、本学では授業科目のひとつとして組み込み、実習時間と内容を評価して、規程に基づき単位を認定しています。その目的は将来のキャリア（職業）を考える機会をつくり、職業観・就労意識を醸成することです。また自分自身の適性、持ち味を確認し、異世代とのコミュニケーションを通して社会や企業に対する理解を深める機会でもあります。キャリアセンターでは、ガイダンスを開催しインターンシップへの参加を呼び掛けるとともに、実習先企業の紹介・エントリー手続きの支援および事前研修を開催しています。また終了後にはインターンシップ参加者の体験・成果発表を行う機会を設けています。実際の就職活動までにぜひインターンシップに参加してください。

2-27 愛知学長懇話会単位互換事業

愛知学長懇話会において締結された「単位互換に関する包括協定」に加盟する他の大学で開講される科目を履修し、修得した単位を本学の単位として認定する制度です。詳しくは事務局教務課で尋ねてください。

2-28 学修状況に関する保護者様への連絡

日頃の授業への出席状況や学期ごとの成績等の学修状況を各セメスター（学期）末に保護者様に郵送でお知らせします。

2-29 開設科目一覧

1. 教養教育科目群：必修科目 30 単位、選択必修科目 2 単位以上を含め 40 単位以上修得

分野	科目名	コード	単位数	必修・選択	備考
共通基盤分野	文章表現法 A（スタディスキル）	BAS101	2	必修	
	文章表現法 B	BAS102	2	必修	
	異文化コミュニケーション基礎論	BAS103	2	必修	
	コンピュータリテラシー	BAS104	2	必修	
	ことばと情報社会	BAS105	2	必修	
	多文化共生基礎論	BAS201	2	必修	
	ことばと人文学	BAS202	2	必修	
	ことばと文化ー日本と世界	BAS301	2	選択必修	いずれか 1 科目 2 単位を修得
	ことばと多文化教育	BAS302	2	選択必修	
	ことばとビジュアル	BAS303	2	選択必修	
日本文化分野	日本古典文学入門	JPN101	2	選択	
	絵画で読む日本史 A	JPN102	2	選択	
	絵画で読む日本史 B	JPN103	2	選択	
	書道 B	JPN104	1	選択	
	日本仏教史	JPN105	2	選択	
	映像で知る日本近現代文学	JPN106	2	選択	
	茶道と日本文化	JPN107	2	選択	
	和歌文学を読む	JPN201	2	選択	
	女流日記を読む	JPN202	2	選択	
	随筆文学を読む	JPN203	2	選択	
	くずし字を読む	JPN204	2	選択	

	地域の歴史と文化遺産 A（小牧学）	JPN205	2	選択	
	地域の歴史と文化遺産 B（犬山学）	JPN206	2	選択	
	日本近現代文学に描かれた社会	JPN207	2	選択	
	江戸の絵本を読む	JPN208	2	選択	
	信長学	JPN209	2	選択	
	日本のサブカルチャーA	JPN210	2	選択	
	日本のサブカルチャーB	JPN211	2	選択	
	美術のなかの日本文化	JPN212	2	選択	
	文学のなかの日本文化	JPN213	2	選択	
	日本語学演習 A	JPN301	2	選択	
	日本語学演習 B	JPN302	2	選択	
	戦国の伝記史料を読む	JPN303	2	選択	
	戦国の城・合戦・生活を読み解く	JPN304	2	選択	
	新聞雑誌から読む日本近現代文学	JPN305	2	選択	
人間を探究する分野	日本国憲法	HMN101	2	選択	
	体育実技 A	HMN102	1	選択	
	体育実技 B	HMN103	1	選択	
	体育実技 C	HMN104	1	選択	
	体育実技 D	HMN105	1	選択	
	体育実技 E	HMN106	1	選択	
	体育実技 F	HMN107	1	選択	
	社会学	HMN201	2	選択	

	マスメディア論	HMN202	2	選択	
	世界宗教の基礎知識	HMN203	2	選択	
	音楽と社会	HMN204	2	選択	
	心理学	HMN205	2	選択	
	行動心理学	HMN206	2	選択	
	ジェンダー論	HMN207	2	選択	
	言語学	HMN301	2	選択	
	応用言語学	HMN302	2	選択	
	映像文化論	HMN303	2	選択	
多文化共生を探究する分野	中国思想と現代中国	MUL101	2	選択	
	中国思想と世界	MUL102	2	選択	
	東南アジアの歴史と文化 A	MUL103	2	選択	
	東南アジアの歴史と文化 B	MUL104	2	選択	
	ドイツ語入門	MUL105	2	選択	
	ドイツ語初級	MUL106	2	選択	
	韓国語入門	MUL107	2	選択	
	韓国語初級	MUL108	2	選択	
	教養中国語 A	MUL109	2	選択	中国語母語話者 履修不可
	教養中国語 B	MUL110	2	選択	
	インドの歴史と文化	MUL201	2	選択	

多文化共生を探究する分野	科目名	コード	単位数	必修・選択	備考
	アメリカ史	MUL202	2	選択	
	ヨーロッパ史	MUL203	2	選択	
	異文化接触論	MUL204	2	選択	
	ドイツの言語と文化	MUL205	2	選択	「ドイツ語入門」単位修得者のみ履修可
	ドイツの言語と社会	MUL206	2	選択	
	韓国の言語と文化	MUL207	2	選択	「韓国語入門」単位修得者のみ履修可
	韓国の言語と社会	MUL208	2	選択	
	日本語音声学	MUL209	2	選択	
	欧米の思想	MUL301	2	選択	
	インド仏教史	MUL302	2	選択	
キャリア形成分野	キャリア形成論	CRR101	2	必修	
	経営学入門	CRR102	2	必修	
	経済学入門	CRR103	2	必修	
	メディアで読み解く世界と日本の経済	CRR104	2	選択	
	キャリアデザインⅠ	CRR201	2	必修	
	キャリアデザインⅡ	CRR202	2	必修	
	コンピュータプレゼンテーション	CRR203	2	必修	
	ビジネス数学入門	CRR204	2	選択	
	データサイエンス入門	CRR205	2	選択	
	マーケティングと消費者行動	CRR206	2	必修	

分野	科目名	コード	単位数	必修・選択	備考
キャリア形成分野	観光と地域創生	CRR207	2	選択	
	キャリアプランニング	CRR301	2	必修	
	ネゴシエーションスキル	CRR302	2	選択	
	観光学	CRR303	2	選択	
	観光文化論	CRR304	2	選択	
特別演習	語学研修	INT101	2	必履修	
	海外実習 A	INT201	1	選択	
	海外実習 B	INT202	2	選択	
	海外実習 C	INT203	3	選択	
	海外実習 D	INT204	4	選択	
	インターンシップ A	INT205	1	選択	
	インターンシップ B	INT206	1	選択	
	インターンシップ C	INT207	1	選択	
	インターンシップ D	INT208	1	選択	
	ボランティア A	INT209	1	選択	
	ボランティア B	INT210	1	選択	

2. 専門教育科目群：必修科目 30 単位、共通選択必修科目 6 単位以上、主専攻選択必修科目（グローバル英語プログラム：16 単位以上、中国語・中国文化プログラム：20 単位以上、教員養成プログラム：14 単位以上）を含め、60 単位以上修得

分野	科目名	コード	単位数	必修・選択	備考
グローバル英語プログラム	Basic English	ENG101	2	必修	グローバル英語プログラム主専攻選択必修科目
	Conversation	ENG102	2	必修	
	Listening for TOEIC A	ENG103	2	選択	
	Listening for TOEIC B	ENG104	2	選択	
	Reading for TOEIC A	ENG105	2	選択	
	Reading for TOEIC B	ENG106	2	選択	
グローバル英語プログラム	Reading Intermediate A	ENG201	2	選択必修	Reading を必ず含め、この中から 3 科目選択必修（共通選択必修科目）。 各科目 Upper はグローバル英語プログラム主専攻選択必修科目。
	Reading Intermediate B	ENG202	2	選択必修	
	Writing Intermediate A	ENG203	2	選択必修	
	Writing Intermediate B	ENG204	2	選択必修	
	Oral Communication Intermediate A	ENG205	2	選択必修	
	Oral Communication Intermediate B	ENG206	2	選択必修	
	Reading Upper A	ENG301	2	選択必修	
	Reading Upper B	ENG302	2	選択必修	
	Writing Upper A	ENG303	2	選択必修	
	Writing Upper B	ENG304	2	選択必修	
	Oral Communication Upper A	ENG305	2	選択必修	

	Oral Communication Upper B	ENG306	2	選択必修	
	British Culture	ENG307	2	選択	グローバル英語プログラム主専攻選択必修科目
	World of English Literature	ENG308	2	選択	
	Japanese History A Early Japan	ENG309	2	選択	
	Japanese History B Medieval Japan	ENG310	2	選択	
	Japanese History C Age of Samurai	ENG311	2	選択	
	Japanese History D Modern Japan	ENG312	2	選択	
	Business Communication	ENG313	2	選択	グローバル英語プログラム主専攻選択必修科目
	Critical Thinking in English	ENG314	2	選択	
	Public Speaking	ENG315	2	選択	
	Analyzing Conversations with Recordings	ENG317	2	選択	
グローバル英語プログラム	Current Topics through Youtube	ENG316	2	選択	グローバル英語プログラム主専攻選択必修科目
	American Pop Culture	ENG401	2	選択	
	World's Religions	ENG402	2	選択	
	Multiculturalism	ENG403	2	選択	
	Japanese Society and Life	ENG404	2	選択	
	English for Interpreters and Tour Guides	ENG405	2	選択	
	Communication Strategies	ENG406	2	選択	
	Contemporary Issues in Society	ENG407	2	選択	
	Debates on Current Topics	ENG408	2	選択	
中国語・中国	入門中国語 I	CHN101	2	必修	クォーター HSK2 級以上合格者履修不可。主専攻選択必修科目から 1 科目履修すること

文化プログラム	入門中国語Ⅱ	CHN102	2	必修	クォーター HSK2 級以上合格者履修不可。 主専攻選択必修科目から 1 科目履修すること
	入門中国語発音・会話Ⅰ	CHN103	1	必修	クォーター
	入門中国語発音・会話Ⅱ	CHN104	1	必修	
	初級中国語Ⅰ	CHN105	2	必修	クォーター HSK2 級以上合格者履修不可。 主専攻選択必修科目から 1 科目履修すること
中国語・中国文化プログラム	初級中国語Ⅱ	CHN106	2	必修	クォーター HSK2 級以上合格者履修不可。 主専攻選択必修科目から 1 科目履修すること
	初級中国語会話演習Ⅰ	CHN107	1	必修	クォーター
	初級中国語会話演習Ⅱ	CHN108	1	必修	
	検定試験対策中国語講座 ＜HSK2 級＞	CHN109	2	必修	HSK2 級以上合格者履修不可。 主専攻選択必修科目から 1 科目履修すること
	中国語講読A	CHN201	2	必修	HSK3 級以上合格者は履修不可。 主専攻選択必修科目から 1 科目履修すること
	中国語講読B	CHN202	2	必修	HSK3 級以上合格者は履修不可。 主専攻選択必修科目から 1 科目履修すること
	中級中国語A	CHN203	2	選択必修	HSK 5 級以上合格者は履修不可
	中級中国語B	CHN204	2	選択必修	
	e-Tandem Learning 中国語 A	CHN205	2	選択	クォーター

	e-Tandem Learning 中国語 B	CHN206	2	選択	選抜クラス
	検定試験対策中国語講座 A ＜HSK3 級＞	CHN207	2	選択必修	HSK 3 級以上合格者は履修不可。
	検定試験対策中国語講座 B ＜HSK3 級＞	CHN208	2	選択必修	
	上級中国語 A	CHN301	2	選択必修	HSK 4 級以上合格者は履修不可。
	上級中国語 B	CHN302	2	選択必修	
	検定試験対策中国語講座 A ＜HSK4 級＞	CHN303	2	選択必修	
	検定試験対策中国語講座 B ＜HSK4 級＞	CHN304	2	選択必修	
中国語・中国語文化プログラム	ビジネス中国語 A	CHN305	2	選択必修	
	ビジネス中国語 B	CHN306	2	選択必修	
	観光中国語	CHN307	2	選択必修	
	医療中国語	CHN401	2	選択必修	
	通訳中国語 A	CHN402	2	選択必修	
	通訳中国語 B	CHN403	2	選択必修	
	中国地域研究 A	CHL301	2	選択	
	中国地域研究 B	CHL302	2	選択	
ゼミナール	アカデミアゼミ A	SEM301	2	必修	
	アカデミアゼミ B	SEM302	2	必修	
	アカデミアゼミ C	SEM401	2	必修	
	アカデミアゼミ D（卒業研究）	SEM402	2	必修	
	卒業論文	SEM403	2	選択	通年
教員養成プログラム	教職概論	EDU101	2	選択必修	
	教育原論	EDU102	2	選択必修	
	教育の制度と経営（教育課程の意義及び編成を含む）	EDU201	2	選択	卒業要件に含めない科目
	道德教育論	EDU202	2	選択	
	ICT を活用した教育の理論と方法	EDU203	1	選択	

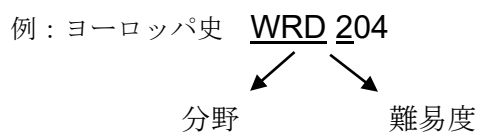
	英語科教育法Ⅰ	EDU204	2	選択	
	英語科教育法Ⅱ	EDU205	2	選択	
	国語科教育法Ⅰ	EDU206	2	選択	
教員養成プログラム	国語科教育法Ⅱ	EDU207	2	選択	
	教育インターンシップA	EDU208	1	選択	
	教育心理学	EDU301	2	選択	
	特別支援教育論	EDU302	2	選択	卒業要件に含めない科目
	教育方法論	EDU303	2	選択	
	総合的な学習の時間の指導法および特別活動論	EDU304	2	選択	
	生徒指導論（進路指導及びキャリア教育を含む）	EDU305	2	選択	
	教育相談論（進路指導及びキャリア教育を含む）	EDU306	2	選択	
	英語科教育法Ⅲ	EDU307	2	選択	
	国語科教育法Ⅲ	EDU308	2	選択	
	英語科教育法Ⅳ	EDU309	2	選択	
	国語科教育法Ⅳ	EDU310	2	選択	
	教育インターンシップB	EDU311	1	選択	
	介護体験	EDU312	1	選択	
	教育研究A	EDU313	2	選択	
	教育実習事前事後指導	EDU401	1	選択	
	教育実習	EDU402	4	選択	
	教職実践演習（中・高）	EDU403	2	選択	
	教育研究B	EDU404	2	選択	
	書道A	JPT101	1	選択必修	

教員養成プログラム	日本古典文学史	JPT201	2	選択必修	
	日本近現代文学史	JPT202	2	選択必修	
	日本語概説	JPT301	2	選択必修	
	日本語史	JPT302	2	選択必修	
	漢文学 A	JPT303	2	選択必修	
	日本古典文学演習 A	JPT305	2	選択必修	
	日本古典文学演習 B	JPT306	2	選択必修	
	日本古典文学演習 C	JPT401	2	選択必修	
	日本古典文学演習 D	JPT402	2	選択必修	
	日本近現代文学演習 A	JPT403	2	選択必修	
	日本近現代文学演習 B	JPT404	2	選択必修	
	英語語法研究	ENT201	2	選択必修	
	英米小説論	ENT202	2	選択必修	
	欧米の文化	ENT301	2	選択必修	
	英語学	ENT302	2	選択必修	
	英語圏の文学	ENT303	2	選択必修	

注：

1. コード番号の見方

科目の分野を表すアルファベットの後、100の位の数字が1の科目は難易度が最も低く、4の科目は最も高くなります（おおよその配当年次に相当します）。難易度が低い科目の履修から始め、次第に難易度の高い科目に移っていく必要があります。



2. 必履修

語学研修は、必修・選択の別の欄に「必履修」と記載されています。語学研修は必ず履修して修了試験を受験しなければならない科目ですが、単位修得は必修ではありません。

3. その他

- ・「通年」と記載された科目は、1年（＝2セメスター）を通して授業が行なわれる科目です。
- ・「クォーター」と記載された科目はクォーター制を導入した科目です。
- ・「隔年開講」と記載された科目は、毎年ではなく1年おきに開講される科目です。
- ・教員免許状の取得については「2-30 教員養成プログラム」を熟読してください。
- ・必修科目「入門中国語Ⅰ」「同Ⅱ」「初級中国語Ⅰ」「同Ⅱ」「入門中国語発音・会話Ⅰ」「同Ⅱ」「初級中国語会話演習Ⅰ」「同Ⅱ」の単位修得ができなかった場合は、「入門中国語Ⅰ（リメディアル）」「同Ⅱ（リメディアル）」「入門中国語発音・会話Ⅰ（リメディアル）」「同Ⅱ（リメディアル）」（春学期夏季集中講義）、「初級中国語Ⅰ（リメディアル）」「同Ⅱ（リメディアル）」「初級中国語会話演習Ⅰ（リメディアル）」「同Ⅱ（リメディアル）」（秋学期春季集中講義）を受講し、合格することにより単位修得（2単位）ができます。Ⅰ・Ⅱともに未修得の場合はⅠの単位取得とします。

2-30 教員養成プログラム

教職課程の規定の単位を修得することで、英語または国語の中学校教諭1種免許、高等学校教諭1種免許を取得できます。本学教職課程では、中学校・高等学校両方の免許を同時に取得することができます。

【受講にあたっての注意事項】

- ・本学教職課程では、中学校・高等学校両方の免許を取得することを目的とし学修を行います。
- ・国語・英語の2教科の教員免許状を取得することはできません。
- ・随時ガイダンスを実施いたします。教職課程受講希望者は必ず出席してください。

取得可能な教員免許状の種類

教科	免許状の種類
国語	中学校教諭1種
	高等学校教諭1種
英語	中学校教諭1種
	高等学校教諭1種

※以下、中学校教諭1種免許を「中免」、高等学校教諭1種免許を「高免」、両方に共通する場合を「教免」と略することがあります。

1. 教員免許状取得のための要件

- ・学士の学位を有すること。
- ・以下の所定の単位を修得すること。

(1) 文部科学省令により修得することを定められている科目（卒業要件単位数に含まれます）

授 業 科 目	単位数	配当年次	備 考
---------	-----	------	-----

		1	2	3	4	
日本国憲法	2	◎				体育実技A・B・C・D・E・F の6科目から2科目を選択。
体育実技A	1	○				
体育実技B	1	○				
体育実技C	1	○				
体育実技D	1	○				
授 業 科 目	単位数	配当年次				備 考
		1	2	3	4	
体育実技E	1	○				体育実技A・B・C・D・E・F の6科目から2科目を選択。
体育実技F	1	○				
Conversation	2	◎				
コンピュータリテラシー	2	◎				

※8単位以上。表中の◎は必修科目（英語、国語共通）。

(2) 教科に関する科目：英語の免許を取得する場合（卒業要件単位数に含まれます）

科目	授 業 科 目	単位数	配当年次				備考
			1	2	3	4	
英語学	英語学	2	◎				
	英語語法研究	2	◎				
英語文学	英語圏の文学	2	◎				
	英米小説論	2	◎				
英語コミュニケーション	Reading Upper A	2	◎				
	Writing Upper A	2	◎				
	Oral Communication Upper A	2	◎				
異文化理解	American Pop Culture	2	◎				
	Japanese History D Modern Japan	2	◎				

	欧米の文化	2	◎	
--	-------	---	---	--

※ 表中の◎は必修科目（選択必修科目を含む）、○は選択科目

(3) 教科に関する科目：国語の免許を取得する場合（卒業要件単位数に含まれます）

科目	授 業 科 目	単位数	配当年次				備考
			1	2	3	4	
国語学	文章表現法 A（スタディスキル）	2	◎				
	文章表現法 B	2	◎				
	日本語史	2	◎				
	日本語概説	2	◎				
国文学	日本古典文学史	2	◎				
	日本近現代文学史	2	◎				
	日本古典文学演習 A	2		◎			6科目の中から2科目4単位を選択必修
	日本古典文学演習 B	2		◎			
	日本古典文学演習 C	2		◎			
	日本古典文学演習 D	2		◎			
	日本近現代文学演習 A	2		◎			
	日本近現代文学演習 B	2		◎			
漢文学	漢文学 A	2	◎				
	漢文学 B	2	◎				
書道	書道 A	1	◎				

※ 表中の◎は必修科目、○は選択科目

(4) 教職に関する科目：英語、国語共通（*の付された科目は卒業要件単位数に含まれません）

授 業 科 目	単位数	配当年次				備考
		1	2	3	4	
教職概論	2	◎				
教育原論	2		◎			
* 教育の制度と経営（教育課程の意義及び編成を含む）	2		◎			
* 道德教育論	2		◎			
* 教育心理学	2			◎		
* 特別支援教育論	2			◎		
* 教育方法論	2			◎		
* 総合的な学習の時間の指導法および特別活動論	2			◎		
* ICT を活用した教育の理論と方法	1		◎			
* 生徒指導論（進路指導及びキャリア教育を含む）	2			◎		
* 教育相談論（進路指導及びキャリア教育を含む）	2			◎		
* 国語科教育法Ⅰ	2		◎			国語科免許必修
* 国語科教育法Ⅱ	2		◎			国語科免許必修
* 国語科教育法Ⅲ	2			◎		国語科免許必修
* 国語科教育法Ⅳ	2			◎		国語科免許必修
* 英語科教育法Ⅰ	2		◎			英語科免許必修
* 英語科教育法Ⅱ	2		◎			英語科免許必修
* 英語科教育法Ⅲ	2			◎		英語科免許必修
* 英語科教育法Ⅳ	2			◎		英語科免許必修
* 介護体験	1			◎		
* 教育実習事前事後指導	1				◎	
* 教育実習	4				◎	
* 教職実践演習（中・高）	2				◎	

*教育研究A	2			○		
*教育研究B	2				○	
*教育インターンシップA	1			○		
*教育インターンシップB	1			○		

※表中の◎は必修科目（選択必修科目を含む）、○は選択科目

(5) 教員免許取得に必要な最少単位数

科 目	中学校 1 種免許＋高等学校 1 種免許	
	英語	国語
文部科学省令により取得することを定められている科目	8 単位	8 単位
教科及び教科の指導法に関する科目	28 単位	29 単位
教職に関する科目	28 単位	28 単位
上記以外に教科及び教科の指導法に関する科目若しくは大学が独自に設定する科目の中から選択	3 単位（教育インターンシップ A、教育インターンシップ B、教育研究 A、教育研究 B）	2 単位（教育インターンシップ A、教育インターンシップ B、教育研究 A、教育研究 B、または国語の教科及び教科の指導法に関する科目）
合計	67 単位	67 単位
その他	介護等体験（下記参照）	

(6) 介護等体験

中学校 1 種免許状取得には介護等体験の修了証明書の提出が必須です。社会福祉施設、老人福祉施設、盲・聾・養護学校等における 7 日間の介護等の体験実習です。2 年次に事務局教務課に申込み、3 年次に実施します。本学教職養成プログラム履修者は、中学校、高等学校の両方の免許を取得することを原則とするため、「介護体験」科目を履修の上、全員必ず行なってください。また介護等体験への参加は 2 年次修了時点において、卒業単位に含まれる科目の単位修得数が 62 単位以上であること、前年度までの学納金が生全額納付されていることが求められます。

(7) 教育インターンシップ

教職課程履修者は、小牧市立小・中学校において教育インターンシップ（学習チューター活動）を単位修得が伴わない課外科目「教育インターンシップ入門」、単位修得が伴う科目「教育インターンシップ A」「教育インターンシップ B」を通して行います。詳細については、教員養成プログラムのガイダンスで説明します。

(8) 教育実習の履修要件

原則として、3 年次修了時点において、卒業単位に含まれる科目の単位修得数が合計 92 単位以上であること、3 年次までに配当されている教職に関する科目（上記（4））が全て修得済みであること、教職課程費及び前年度までの学納金が全て納付されていること、教員養成プログラム選択必修科目の GPA 平均が 1.0 以上であることが求められます。

(9) その他

教員免許取得には別途諸費用が必要となります。3 年次進級時ごろを目処に、教職課程費として 4 万円を指定の方法で支払うこととします。詳細は、ガイダンスにて説明します。

教科に関する科目（上記（2）（3））は、4 年間で取りこぼしなく修得できるように計画的に履修・単位修得してください。

2-31 証明書の発行

申請窓口：教務課 申請には下記の発行手数料が必要です。
（卒業見込証明書のみキャリアセンターへ申請のこと）
受取窓口：教務課 学生証を提示し、受け取ってください。

英文証明書の発行は、証明書の種類を問わず申請の 7 日後です。

証明書種別	発行日	発行手数料（和文・英文共通）
在学証明書	翌日	250 円
成績証明書	翌日	
単位修得見込証明書	翌日	
卒業見込証明書	翌日	
卒業証明書	翌日	
健康診断証明書	翌日	
出席証明書	3 日後	
教員免許状取得見込証明書	3 日後	
学力に関する証明書（教職）	3 日後	
学生証の再発行	翌日	2,000 円

※長期休暇中の特例として、各種証明書の内、発行日が翌日になっている証明書については、本学に來学して申請した場合は、当日発行ができる。

【長期休暇中の証明書申込方法】

長期休暇中で窓口での申請ができない場合は、郵送による申請が可能です。次の必要事項を記入し、発行・返信手数料を同封して現金書留で教務担当宛に郵送してください。

＜必要事項＞

1. 学籍番号

2. 氏名
3. 生年月日
4. 使用目的
5. 携帯電話番号
6. 証明書の種類と部数

<返信手数料>

3部以内 120 円

4通以上 140 円（速達 280 円追加）(2020.3 現在)

証明書は大学に登録されている住所に送付します。

住所を変更した場合は、必ず住所変更届を提出してください。

留学生

国際日本コース教育の特徴

【実践的な語学教育】

「実際に使える語学」修得を目指し、日本語運用能力を確実に身につけるカリキュラムを設定しています。詳細は 2-27 を参照してください。

【日本文化プログラム】

日本語の運用能力を高めること、そして日本での将来の就職に備え、日本の文化、社会を正しく理解することを目的として、留学生のための幅広いカリキュラムを設定しています。詳細は 2-27 を参照してください。

【進級制度】

本学における学修の質保証の観点から、進級制度を導入しています。詳細は 2-14 を参照してください。

2-1 セメスター制

本学はセメスター（学期）制を採用しており、1 年は春期・秋期の 2 セメスターに分かれています。本学の科目は一部の例外を除き、1 セメスター15 週＋定期試験で完結します。ただし科目の中には、休暇中に開講されるもの（集中講義科目）もあります。

2-2 学籍

本学の修業年数は 4 年とし、在学年数は 8 年まで認められます。ただし、休学期間は在学年数に含まれません。学籍の異動は必要な書類が提出された場合、教授会において審議します。学籍異動の区分は次のとおりです。

1. 休学

- ・病気や経済的理由など、やむを得ない理由により学修の継続が困難であると判断される場合とし、一度の休学期間は 1 年を越えることはできません。事前にゼミ指導教員または教学部と面談した上で、休学願を教務課に提出してください。
- ・教授会が特に認めた場合を除き、休学可能な期間は、学期を単位として通算 2 学年度以内となります。
- ・休学中は在籍料（半期 50,000 円）を必要とします。
- ・休学期間は、原則として日本に滞在することはできませんので注意してください。

2. 復学

休学期間を終えて復学する場合は、学期が始まる前月（3 月、8 月）までに復学願を教務課に提出してください。

3. 退学

事前にゼミ指導教員または教学部と面談した上で、退学願を教務課に提出してください。

4. 除籍

所定の期日までに学納金が納入されない場合、学則に基づいて除籍となります。

5. 再入学

- ・退学または除籍した者が卒業を目的として再入学することができます。
- ・再入学の可能な期間は、退学または除籍日から 2 年以内です。
- ・除籍の場合は、除籍の日から 1 年以内に未納の授業料を納付した者を対象とします。

- ・再入学希望者は、再入学試験を受験し、合格した場合再入学が認められます。

2-3 学籍番号・学生証

(1)学籍番号

学籍番号は 8 桁の英数字です。様々な機会で使用しますので覚えて下さい。

学籍番号の意味（122-1001 の場合）

122	1	001
↓	↓	
入学年度	入学区分	連続番号
	1 一般	
	2 留学生	
	4 編入学	
	8 社会人	

(2)学生証の提示

学生証は本学の学生であることを証明するものです。常に携帯し、本学教職員から請求があった場合は提示しなければなりません。また、試験を受験する際および証明書発行等の手続きの際に必要です。学生証は悪用されることがありますので、紛失、盗難、汚損などのないよう取扱いには十分注意し、大切に保持してください。

次の場合は必ず提示しなければなりません。

1)試験を受けるとき。

学内試験時に学生証を持参していない場合は、教学部で仮学生証発行手続きを行うこと。

※発行手数料：1,000 円

2) 図書館で図書を借りるとき。

3) 各種証明書、通学証明書、学生旅客運賃割引証（学割証）等の発行申請時。

また、それらを使用して乗車・乗船した際に係員から提示を求められたとき。

4) 体育館等の施設使用、部室の使用、及び学生貸出し物品の貸出しを受けるとき。

5) 本大学教職員から提示を求められたとき。

(3)記載事項の変更

氏名、住所など記載事項に変更が生じた場合は、許可なく抹消したり改めたりせず、学生課に届け出てください。

(4)学生証の返還

次の事項のいずれかに該当する場合は、直ちに返還しなければなりません。

1) 退学、除籍により本学学生の身分を離れたとき。

2) 再交付後に、旧学生証が見つかったとき。あるいはカード不良による無料交換のとき（旧学生証を返還）。

(5)その他

1) 紛失した場合または盗難にあった場合は、直ちに最寄りの警察へ届け出るとともに、学生課で再交付の手続きをしてください。再交付には手数料が必要です。

2) 裏面の通学証明書の使用回数が上限に達した場合は学生課に申し出てください。

3) 他人に貸与または、譲渡してはなりません。

2-4 シラバス（授業計画書）・オフィスアワー・年間行事予定（アカデミックカレンダー）

(1)シラバス(授業計画書)

シラバス(授業計画書)には、各年度開講される授業科目について、授業の概要と目的・事前事後学習・授業の内容・授業形態・成績評価方法・テキスト・参考資料文献等が記載されています。履修登録前に確認してください。学生ポータルサイトでシラバス(授業計画書)の検索・閲覧ができます。

(2)オフィスアワー

本学では、教員が研究室に在室する「オフィスアワー」を設けています。オフィスアワーは学生用ポータルサイトに掲載されていますので、講義についての質問や、専任教員へ相談したい場合に利用してください。

(3)年間行事予定について

年間行事予定については、学生用ポータルサイトに掲載されているアカデミックカレンダーで確認してください。

2-5 授業

授業は春期と秋期の 2 つのセメスター（学期）に分かれています。授業が行なわれる期間は、春期 4 月から 7 月下旬、秋期 9 月下旬から 1 月下旬です。詳細はアカデミックカレンダーで確認してください。

1 時限	2 時限	3 時限	4 時限	5 時限
9 : 20～10 : 50	11 : 00～12 : 30	13 : 20～14 : 50	15 : 00～16 : 30	16 : 40～18 : 10

2-6 単位と学修時間

大学における授業はその学修量を「単位」という言葉で表します。それぞれの授業は 45 時間の学修＝1 単位として計算します。学修時間は教室内での授業時間の他に、教室外（図書館、自宅、下宿等）で行う予習復習等の時間も含んで計算されています。卒業のため、また資格取得のためには、それぞれに定められた「単位数」分の学修が必要となります。

本学では、授業時間外に必要な学修を考え、以下のとおり単位数を計算しています。

単位認定の根拠となる学修時間は、1 時間の授業に対し 2 時間の自学自習です。指定教科書による自学自習と授業の完全履修を求めます。完全履修とは、授業に皆出席し、定期試験を受験することです。

授業区分	単位数	教室内	教室外	回数	学修時間
講義・演習	2 単位	2 時間	4 時間	15 回	90 時間
実習・演習	1 単位	2 時間	1 時間	15 回	45 時間

※ 90 分授業は 1 時限 2 時間として計算しています。

2-7 休講・補講

授業はアカデミックカレンダーに従い 15 週を完全実施しますが、やむを得ない事情により休講となった場合は補講を行ないます。補講はアカデミックカレンダーに記された補講期間のほか、通常授業期間の 5 時限に実施されることもあります。休講・補講についてのお知らせは、学生用ポータルサイトで確認してください。

2-8 天候や交通ストライキ等による休講

警報発令に伴う措置については、学生用ポータルサイトおよび大学ホームページに掲載されます。

(1) 「警戒宣言」が発せられた場合

「警戒宣言」とは、内閣総理大臣が大規模地震対策特別措置法にもとづき、緊急に防災対策をとる必要があると認めた場合に発する宣言で、いわゆる「地震警報」をいいます。

- A. 発令当日：授業開始以前に発令された場合は、授業は行ないません。授業開始以後に発令された場合は、発令があった時から授業を行ないません。
- B. 発令以降：警報が解除されるまで授業を行ないません。
- C. 解除当日：午前 7 時までに解除された場合、平常授業を行ないます。午前 11 時までに解除された場合、午後は平常授業を行ないます。

なお、地震防災対策強化地域判定会招集についても、招集を発令と読みかえて同様の措置をとります。

(2) 「暴風警報」が発せられた場合

- A. 愛知県西部に警報発令中は授業を行ないません。
- B. 午前 7 時までに解除された場合、平常授業を行ないます。午前 11 時までに解除された場合、午後から平常授業を行ないます。授業開始以後に発令された場合は、発令があった時から授業を行ないません。

(3) 交通機関が正常に運行しない場合

J R 中央本線が不通となるなど、大学への主要な交通機関が正常に運行しない場合でも、原則として授業を行ないます。ただし、早期の復旧が望めない場合など状況により、授業開始時刻を遅らせてたり休講にしたりすることがあります。鉄道等交通機関が不通の場合は、駅窓口などで遅延証明書等を取得し、後日提出できるように準備しておいてください。

2-9 出席の確認

すべての授業で出席を確認します。定期試験を受験するためには、欠席が授業実施回数の 5 分の 1 以内でなければなりません。定期試験を受験できなければ、その科目の単位認定はされませんので注意してください。なお、遅刻は授業開始時間から 20 分まで認められ、遅刻 3 回で欠席 1 回とみなされます。

就職活動や課外活動等による欠席は、所定の手続きを行ない「公欠」と認められた場合は、出席と同様の扱いとします。しかし、定期試験を受験するためには、公欠は授業実施回数の 3 分の 1 以内でなければなりません。詳しくは、「出席、遅刻、公欠等の取扱いに関する規程」を熟読してください。

2-10 試験

試験には、定期試験、追試験、再試験があります。各試験の実施概要は次の通りです。

1. 定期試験

各セメスター（学期）末にアカデミックカレンダーの日程に基づいて実施されます。

2. 追試験

定期試験を忌引、疾病、列車等の遅延、事故等で欠席した学生を対象として、追試験受験を許可することがあります。欠席理由を証明する公的な書類（医師の診断書等）がなければ、受験は認められません。指定期間に教務課で公的な書類を添えて受験申請してください。

3. 再試験

定期試験及び追試験の結果、不合格になった者のうち、成績評価が **D（40 点以上 60 点未満）** である場合、当該学期において再試験を受けることができます。再試験を希望する者は、所定の期日までに「再試験願」に再試験受験料を添えて教務課に提出してください。

2-11 成績評価と G P A

(1) 成績評価と単位

成績評価と単位認定は、定期試験の評価に加えて、日頃の受講態度（平常点）、出席状況、レポート等課題の内容を総合して判断します。評価は、各科目のシラバス（授業科目概要）に記載された成績評価基準によります。**D、E および X** と評価された場合には単位認定されません。

グレーディング	判定基準
S (4)	評価点 90 点以上 、その科目において要求されている特に優秀にして創造性に富む成績
A (3)	評価点 80 点以上 89 点以下 、その科目において要求されている優秀な成績
B (2)	評価点 70 点以上 79 点以下 、ほぼ満足すべき成績
C (1)	評価点 60 点以上 69 点以下 、合格と認められる最低水準の成績
D (0)	40 点以上 60 点未満 、合格とは認められない成績だが、再試験の受験は可能
E (0)	40 点未満 、合格とは認められない成績
X (0)	1 セメスターの授業 15 回 のうち 4 回以上 欠席した場合および試験を受験しなかった場合

() の数字はグレーディングポイント

成績評価が合格・不合格で評価される科目	「合格」、「不合格」で成績評価され、合格の場合、単位が認定されます。
インターンシップ A、インターンシップ B、インターンシップ C、インターンシップ D、ボランティア A、ボランティア B	GPA の対象外です。

(2) Grade Point Average について

① G P A の目的

G P A (Grade Point Average = 評価点平均) は「履修科目単位 1 単位あたりの成績平均」です。これにより「学修の成果」を数値化して把握することが可能となります。G P A は、アカデミアゼミの所属 (2-21)、奨学金給付や表彰者決定などの選考基準になります。

② 算出方法

次の計算式により単位あたり平均を算出します。

$$GPA = \frac{[(\text{科目の単位数}) \times (\text{その科目で得た評価点})] \text{の合計}}{(\text{履修登録した単位数}) \text{の合計}}$$

履修登録しながら受講しなかった、あるいは途中で受講をやめた場合もX評価となり、GPAが低下します。履修登録の際には、この点に十分注意してください。また、履修を取りやめる場合は、必ず所定の期間に手続きを行なってください（2-17 参照）。

③GPAに算入されない科目

次の科目の成績はGPAに算入しません。

分 野	科 目 名
体育科目	体育実技A、体育実技B、体育実、E、体育実技F
実習科目	インターンシップA、インターンシップB、インターンシップC、インターンシップD、ボランティアA、ボランティアB
認定科目	他大学等で修得し、本学で単位認定された科目

④算出期間と表記桁数

GPAはセメスター（学期）ごとではなく、入学時から通算で算出します。表記は小数以下2桁（3桁目を四捨五入）までです。

2-12 不正行為

試験で不正行為を行った場合の処置は次のとおりです。

- ・愛知文教大学人文学部試験規程第5条に基づき、その期の試験の科目は全て不合格とします。
なお、定期試験（全学一斉で行う前期末試験、学年末試験）とは別に教員により行われる中間試験や授業期間内試験などにおいて不正が行われた場合も処分の対象となります。
- ・不正行為を行った場合は、学則第52条に基づき、退学、停学などの懲戒処分をうけることがあります。
- ・学籍簿に不正行為を記載し、不正行為者として氏名を掲示により公表します。
- ・教学部の指導を受け、顛末書および反省文を提出します。
- ・奨学金や住宅費助成など大学からの支給金はすべて停止します。

2-13 成績評価調査制度

成績評価が間違っていると思われる十分な理由がある場合に、成績評価に間違いがないか、科目担当教員に確認を求めることができます。ただし、成績の再考を求めるものではありません。調査を希望する場合は指定期間内に次の手続きをしてください。

- (1) 調査申請受付期間：成績発表日から5日以内（休日・祝日を除く平日 9:00～17:00）
- (2) 申請方法：教務課で「成績評価に関する質問書」を受け取り、必要事項を記入の上、教務課に提出してください。

2-14 進級要件

3年次に進級するためには、以下の要件を満たさなければいけません。

- (1)休学期間を除き、入学後2年間(4セメスター) 在学していること。
- (2)入学後2年間（4セメスター）、2年次編入学生の場合は入学後1年間（2セメスター）の通算GPAが0.40以上であること。

2-15 卒業要件単位と開講科目

- (1) 4年以上在学すること

(2) 卒業所要単位数

科目群	卒業所要単位数
教養教育科目群	40 単位以上
うち必修科目	20 単位
専門教育科目群	60 単位以上
うち必修科目	36 単位
選択必修科目	20 単位
合計	124 単位以上

(3) 必修科目および選択必修科目

開設科目一覧記載の必修科目および選択必修科目のすべてを修得すること

(4) 卒業の要件による科目の分類 <開設科目一覧 必修・選択区分欄参照>

分類	規定
必修科目	必ず単位修得しなければならない科目
選択科目	適宜選択して単位修得する科目
選択必修科目	いくつかの科目の中から選択して卒業要件上の必要単位数を必ず修得しなければならない科目

2-16 履修登録単位の上限

適切に授業科目を履修するため、セメスターごとの履修登録可能単位数は **22 単位** を上限としています。ただし、下記の科目は履修登録上限に含めません。また、入学後の通算 **GPA が 3.20 以上** の場合は、次学期の履修登録可能単位数の上限を **26 単位** とします。なお、その場合でも各年次の履修登録単位数が **50 単位** を超えてはいけません。

履修登録上限に含まない科目一覧
インターンシップ A、インターンシップ B、インターンシップ C、インターンシップ D、ボランティア A、ボランティア B、海外実習 A、海外実習 B、海外実習 C、海外実習 D、卒業論文

2-17 履修登録・修正・取消

- (1) 履修登録は指定の履修登録期間、履修登録修正期間に行ってください。期間内であれば何度でも変更可能です。
- (2) 履修登録は、学生用ポータルサイトから行ってください。ただし、他大学での開講科目については、教務課窓口で登録してください。
- (3) 履修登録の方法は、オリエンテーションおよび各セメスター終了後送付する資料で説明します。
- (4) 履修登録修正期間には、履修登録した科目の変更、取消、追加が可能です。
- (5) 授業科目によっては、教育環境の充実、教室定員の都合により、受講定員を設定する場合があります。応募者が定員を超えた場合は、抽選となります。（抽選方式：GPA 評価）
- (6) 履修するクラスを指定する場合があります。クラスが指定されている場合、それを変更することはできません。
- (7) 履修登録後、登録確認期間に必ず登録結果を確認してください。登録されていない科目は履修することはできません。確認期間後は、確認済みとみなし修正は受け付けませんので注意してください。

2-18 必修科目

必修科目を指定セメスター（学期）ないしは年次に単位修得しなかった場合、その後の履修に大きな影響が出ます。必ず指定セメスターないしは年次に単位修得してください。指定セメスターないしは年次に単位修得できなかった場合には、次年度以降卒業年度までに履修してください。なお、必修科目の教科書等は原則として大学から支給されます。

2-19 履修条件・履修制限科目

科目によっては、適正な人数やレベルを設定して授業の水準を保つ必要があります。そのため、特定の科目の単位修得や、一定の語学レベルに達していることなど履修の条件がある科目があります。また、履修制限科目とは、試験その他の手段で履修水準に達していないと判断された場合は履修不可となる科目です。履修制限については、シラバスに記載されています。履修登録の際には必ずシラバスを確認してください。

2-20 履修順位について

表記区分	履修順位等の規定
科目名称にⅠ、Ⅱ、Ⅲとローマ数字がつく科目	原則としてⅠ、Ⅱ、Ⅲ・・・の順に履修してください。
科目名称にA～Fとアルファベットがつく科目	履修の順番はありません。ただし、必修科目ではAを先に履修するようにしてください。

2-21 同一科目の複数回履修について

単位を修得した科目を再び履修および単位修得することはできません。単位を修得できなかった科目は、次年度以降再び履修することができます。

2-22 「アカデミアゼミ」「卒業研究」「卒業論文」について

「アカデミアゼミ」（3、4年次対象）は、研究したいテーマについての知識を身につけ、研究を進めていくためのゼミナールです。万一、日本語能力試験（JLPT）N2以上に合格していない場合は、選択できるゼミが限られます。また、「アカデミアゼミ」では、学生は専任教員いずれかの研究室に所属しますが、希望者が多数の場合は選抜となります。選抜は主に日本語能力試験（JLPT）の取得級およびGPAによって判断されます。希望するゼミナールに所属するために2年次までの学修状況や成績が大変重要です。登録は2年次秋期に行ないます。なお、3年次に進級しない学生はアカデミアゼミを履修することができません（2.14 進級要件参照）。

「アカデミアゼミ」では「卒業研究」および「卒業論文」の作成を行ないます。卒業研究や卒業論文の作成は、知識を得るだけでなく論理的思考や独創性などを養うものであり、大学での学びの成果を形として残すことができます。就職活動において卒業研究や卒業論文についての質問がある場合もあります。なお、「卒業論文」は卒業必修ではありませんが、大学院に進学する場合には必要となりますので作成してください。

アカデミアゼミは、以下のスケジュールで行われます。

- ①アカデミアゼミ A では、研究分野の概要や基礎的な知識、研究方法を学びます。学期末にレポートを提出します。
- ②アカデミアゼミ B では、卒業研究の計画やテーマを決定していきます。学内発表会（12月）で発表を行ない、学期末にレポートを提出します。
- ③アカデミアゼミ C では4月に卒業研究の計画書を提出し、それにもとづいて研究を進めていきます。学期末にレポートを提出します。
- ④アカデミアゼミ D では研究を完成させ、学内発表会（11月下旬～12月初旬）で最終発表を行ない、学期末に最終レポート（卒業研究）を提出します。
- ⑤卒業研究をさらに本格的に論文にしたい場合は、卒業論文を作成することもできます。卒業論文を執筆する場合は、アカデミアゼミ C 開講後、テーマを提出します（第4ゼミ期にテーマ変更、取り下げ可）。

2-23 入学前学修に対する単位認定

本学が指定する資格を入学前3年間に取得した者は、所定の手続きにより卒業のための単位として認定されます。希望する場合は、申請書に必要事項を記入し、合格証など学修の成果を証明する公的な書類を添えて入学した学期の通常授業最終日までに事務局教務課に届け出てください。

入学前に取得した資格の単位認定（2022年度国際日本コース1年次入学者）

種目	資格検定試験の名称	主催団体名	科目名	認定単位数	認定級位
日本語	日本語能力試験（JLPT）	国際交流基金・日本国際教育支援協会	日本語精読入門Ⅰ	2	N2以上

2-24 在学中に取得した資格の単位認定

本学が指定する資格を在学中に取得した者は、所定の手続きにより卒業のための単位として認定されます。希望する場合は、申請書に必要事項を記入し、合格証など学修の成果を証明する公的な書類を添えて学期の通常授業最終日までに事務局教務課に届け出てください。

種目	資格検定試験の名称	主催団体名	科目名	認定単位数	認定級位
日本語	日本語能力試験（JLPT）	国際交流基金・日本国際教育支援協会	専門教育科目群 (注1)	2	N2
			専門教育科目群 (注2)	2	N1

（注1）「選択必修科目」の「検定試験N1対策講座」を除く「日本語分野」での認定とする。

(注2) 「選択必修科目」の「日本語分野」での認定とする。

2-25 インターンシップ

インターンシップとは、学生が在学中に将来のキャリア（職業）に関連した就業体験を行うことであり、本学では授業科目のひとつとして組み込み、実習時間と内容を評価して、規程に基づき単位を認定しています。

その目的は将来のキャリア（職業）を考える機会をつくり、職業観・就労意識を醸成することです。また自分自身の適性、持ち味を確認し、異世代とのコミュニケーションを通して社会や企業に対する理解を深める機会でもあります。キャリアセンターでは、ガイダンスを開催しインターンシップへの参加を呼び掛けるとともに、実習先企業の紹介・エントリー手続きの支援および事前研修を開催しています。また終了後にはインターンシップ参加者の体験・成果発表を行う機会を設けています。実際の就職活動までにぜひインターンシップに参加してください。

2-26 愛知学長懇話会単位互換事業

愛知学長懇話会において締結された「単位互換に関する包括協定」に加盟する他の大学で開講される科目を履修し、修得した単位を本学の単位として認定する制度です。詳しくは事務局教務課で尋ねてください。

2-27 開設科目一覧

1. 教養教育科目群：必修科目 20 単位を含め、40 単位以上修得

分野	科目名	コード	単位数	必修・選択	備考
人間を 探求する 分野	体育実技 A	HMN101	1	選択	定員 30 名
	体育実技 B	HMN102	1	選択	定員 40 名
	体育実技 E	HMN103	1	選択	
	体育実技 F	HMN104	1	選択	
	社会学	HMN201	2	選択	N2 以上取得者
	マスメディア論	HMN202	2	選択	
	世界宗教の基礎知識	HMN203	2	選択	
	音楽と社会	HMN204	2	選択	N2 以上取得者
	心理学	HMN205	2	選択	
	行動心理学	HMN206	2	選択	N1 取得者
	ジェンダー論	HMN207	2	選択	N2 以上取得者
	言語学入門	HMN201	2	選択	N2 以上取得者 「留学生のための言語学」単位 取得者は履修不可
	言語学	HMN204	2	選択	N1 取得者 定員 20 名 (GPA 選抜)
	応用言語学	HMN301	2	選択	N2 以上取得者
	映像文化論	HMN302	2	選択	
多文化 共生	中国思想と現代中国	MUL101	2	選択	N1 取得者
	中国思想と世界	MUL102	2	選択	N2 以上取得者
	東南アジアの歴史と文化 A	MUL103	2	選択	

を 探 究 す る 分 野	東南アジアの歴史と文化 B	MUL104	2	選択	
	ドイツ語入門	MUL105	2	選択	N2 以上取得者 定員 40 名
	ドイツ語初級	MUL106	2	選択	「ドイツ語入 門」単位修得者
	韓国語入門	MUL107	2	選択	
	韓国語初級	MUL108	2	選択	「韓国語 I」単 位修得者
	インドの歴史と文化	MUL201	2	選択	
	アメリカ史	MUL202	2	選択	N2 以上取得者
	ヨーロッパ史	MUL203	2	選択	
	異文化接触論	MUL204	2	選択	N1 取得者 定員 30 名
	ドイツの言語と文化	MUL205	2	選択	「ドイツ語入 門」単位修得者
	ドイツの言語と社会	MUL206	2	選択	
	韓国の言語と文化	MUL207	2	選択	「韓国語入門」 単位修得者
	韓国の言語と社会	MUL208	2	選択	
	日本語音声学	MUL209	2	選択	N2 以上取得者
	欧米の文化	WRD301	2	選択	
	欧米の思想	WRD302	2	選択	
	インド仏教史	WRD303	2	選択	
キ ャ リ ア 形 成 分 野	大学の学びとキャリア設計	CRR101	2	必修	
	キャリア入門	CRR102	2	必修	
	情報基礎 A	CRR103	2	必修	
	情報基礎 B	CRR104	2	必修	
	キャリアデザイン A	CRR201	2	必修	

	キャリアデザインB	CRR202	2	必修	
	留学生のための日本経済入門	CRR203	2	必修	
	キャリアプランニングA	CRR301	2	必修	
	キャリアプランニングB	CRR302	2	必修	
	観光学	CRR303	2	選択	N2 以上取得者
	観光文化論	CRR304	2	選択	
	SPI 特別講座 A	CRR305	2	選択	N1 取得者
	SPI 特別講座 B	CRR306	2	選択	
	プレゼンテーションスキル	CRR307	2	必修	
英語分野	Basic English for International Students A	ENG101	2	選択	TOEIC200 以上履修不可
	Listening for TOEIC A	ENG103	2	選択	TOEIC 受験者優先
	Listening for TOEIC B	ENG104	2	選択	TOEIC 受験者優先
	Reading for TOEIC A	ENG105	2	選択	TOEIC350 未満足員 30 名
	Reading for TOEIC B	ENG106	2	選択	TOEIC400 未満足員 30 名
	Reading Upper A	ENG301	2	選択	TOEIC350 以上 定員 30 名
	Reading Upper B	ENG302	2	選択	
	Writing Upper A	ENG303	2	選択	TOEIC350 以上
	Writing Upper B	ENG304	2	選択	
	Oral Communication Upper A	ENG305	2	選択	TOEIC350 以上 定員 30 名
	Oral Communication Upper B	ENG306	2	選択	
	Reading & Writing for International Students B	ENG212	2	選択	TOEIC400 以上
	British Culture	ENG307	2	選択	TOEIC350 以上

	World of English Literature	ENG308	2	選択	
	Japanese History A Early Japan	ENG309	2	選択	隔年開講 TOEIC350 以上
	Japanese History B Medieval Japan	ENG310	2	選択	
	Japanese History C Age of Samurai	ENG311	2	選択	
	Japanese History D Modern Japan	ENG312	2	選択	
	American Pop Culture	ENG401	2	選択	TOEIC400 以上
	Multiculturalism	ENG403	2	選択	
	Japanese Society and Life	ENG404	2	選択	
	Public Speaking	ENG316	2	選択	
	Current Topics through YouTube	ENG316	2	選択	TOEIC350 以上
	Contemporary Issues in Society	ENG407	2	選択	TOEIC400 以上
	Analyzing Conversations with Recordings	ENG317	2	選択	TOEIC350 以上
	Debates on Current Topics	ENG408	2	選択	TOEIC400 以上 定員 24 名
	英米小説論	ENL201	2	選択	
	英語語法研究	ENL202	2	選択	N1 取得者
	英語学	ENL301	2	選択	
	英語圏の文学	ENL302	2	選択	
中国語分野	教養中国語 A	CHN101	2	選択	中国語母語話者 履修不可
	教養中国語 B	CHN102	2	選択	
	検定試験対策中国語講座 (HSK2 級)	CHN103	2	選択	中国語母語話者 および HSK2 級 以上合格者履修 不可

	中級中国語 A	CHN201	2	選択	N2 以上、中国語母語話者および HSK5 級以上合格者履修不可
	中級中国語 B	CHN202	2	選択	
	検定試験対策中国語講座 A (HSK3 級)	CHN203	2	選択	中国語母語話者および HSK3 級以上合格者履修不可 1 年以上の中国語学習歴
	検定試験対策中国語講座 B (HSK3 級)	CHN204	2	選択	
	上級中国語 A	CHN301	2	選択	N2 以上取得者
	上級中国語 B	CHN302	2	選択	
	検定試験対策中国語講座 A (HSK4 級)	CHN205	2	選択	中国語母語話者および HSK4 級以上合格者履修不可 2 年以上の中国語学習歴
	検定試験対策中国語講座 B (HSK4 級)	CHN206	2	選択	
	ビジネス中国語 A	CHN303	2	選択	N2 以上取得者
	ビジネス中国語 B	CHN304	2	選択	
	観光中国語	CHN307	2	選択	
	医療中国語	CHN403	2	選択	
	通訳中国語 A	CHN401	2	選択	
	通訳中国語 B	CHN402	2	選択	
	中国地域研究 A	CHL305	2	選択	
	中国地域研究 B	CHL306	2	選択	
特別演習	インターンシップ A	INT201	1	選択	
	インターンシップ B	INT202	1	選択	「インターンシップ A」修得済み
	インターンシップ C	INT203	1	選択	
	インターンシップ D	INT204	1	選択	「インターンシップ C」修得済み
	ボランティア A	INT209	1	選択	
	ボランティア B	INT210	1	選択	

2. 専門教育科目群：必修科目 36 単位、選択必修科目 20 単位以上を含め、60 単位以上修得

分野	科目名	コード	単位数	必修・選択	備考
日本語分野	スタディスキルⅠ	JPL101	2	必修	
	スタディスキルⅡ	JPL102	2	必修	
	日本語精読入門Ⅰ	JPL103	2	選択必修	N2 以上取得者履修不可
	日本語精読入門Ⅱ	JPL104	2	選択必修	
	漢字を識る A	JPL105	2	選択必修	
	漢字を識る B	JPL106	2	選択必修	
	検定試験 N2 対策講座（語彙・文法） A	JPL107	2	選択必修	
	検定試験 N2 対策講座（語彙・文法） B	JPL108	2	選択必修	
	検定試験 N2 対策講座（聴解・読解） A	JPL109	2	選択必修	
	検定試験 N2 対策講座（聴解・読解） B	JPL110	2	選択必修	
	検定試験 N2 対策講座（実践） A	JPL111	2	選択必修	
	検定試験 N2 対策講座（実践） B	JPL112	2	選択必修	
	日本語アカデミックライティング A	JPL201	2	必修	
	日本語アカデミックライティング B	JPL202	2	必修	
	日本語精読Ⅰ	JPL203	2	必修	N2 以上取得していない場合は「日本語精読入門Ⅱ」を修得済みであること
	日本語精読Ⅱ	JPL204	2	必修	N2 以上取得していない場合は「日本語精読Ⅰ」を修得済みであること
	日本語の語彙・表記 A	JPL205	2	選択必修	N2 以上取得者

	日本語の語彙・表記 B	JPL206	2	選択必修	
	検定試験 N1 対策講座（語彙・文法） A	JPL207	2	選択必修	N2 取得者（N1 取得者は履修できない）
	検定試験 N1 対策講座（語彙・文法） B	JPL208	2	選択必修	
	検定試験 N1 対策講座（聴解・読解） A	JPL209	2	選択必修	
	検定試験 N1 対策講座（聴解・読解） B	JPL210	2	選択必修	
	検定試験 N1 対策講座（実践） A	JPL211	2	選択必修	
	検定試験 N1 対策講座（実践） B	JPL212	2	選択必修	N2 取得者（N1 取得者は履修できない）
	上級日本語 A	JPL301	2	選択必修	N2 以上取得者 定員 12 名 (GPA 選抜)
	上級日本語 B	JPL302	2	選択必修	
	ディベート日本語 A	JPL303	2	選択必修	
	ディベート日本語 B	JPL304	2	選択必修	
	ビジネス日本語 A	JPL401	2	選択必修	N2 以上取得者
	ビジネス日本語 B	JPL402	2	選択必修	
	日本語翻訳 A	JPL403	2	選択必修	N2 以上取得者 定員 12 名 (GPA 選抜)
	日本語翻訳 B	JPL404	2	選択必修	
日 本 文 化 分 野	日本の歴史と文化 A	JPN108	2	必修	
	日本の歴史と文化 B	JPN109	2	必修	
	字と書を学ぶ A	JPN110	2	必修	
	字と書を学ぶ B	JPN111	2	必修	
	留学生のための地域文化探求 A	JPN306	2	必修	
	留学生のための地域文化探求 B	JPN307	2	必修	
	日本のサブカルチャー A	JPN308	2	必修	
	日本のサブカルチャー B	JPN309	2	必修	

	日本古典文学入門	JPN101	2	選択必修	N1 取得者
	絵画で読む日本史 A	JPN102	2	選択必修	N2 以上取得者
	絵画で読む日本史 B	JPN103	2	選択必修	
	日本仏教史	JPN105	2	選択	
	映像で知る日本近現代文学	JPN106	2	選択必修	
	日本古典文学史	JPT201	2	選択必修	
	日本近現代文学史	JPT202	2	選択必修	
	随筆文学を読む	JPN203	2	選択必修	
	くずし字を読む	JPN204	2	選択必修	
	地域の歴史と文化遺産 A (小牧学)	JPN205	2	選択必修	N1 取得者
	地域の歴史と文化遺産 B (犬山学)	JPN206	2	選択必修	
	日本近現代文学に描かれた社会	JPN207	2	選択必修	N2 以上取得者
	美術のなかの日本文化	JPN310	2	選択必修	N2 以上取得者
	文学のなかの日本文化	JPN311	2	選択必修	
	漢文学 A	JPT303	2	選択	N1 取得者
	漢文学 B	JPT304	2	選択	
ゼミナール	アカデミアゼミ A	SEM301	2	必修	
	アカデミアゼミ B	SEM302	2	必修	
	アカデミアゼミ C	SEM401	2	必修	
	アカデミアゼミ D (卒業研究)	SEM402	2	必修	
	卒業論文	SEM403	2	選択	

注：

1. コード番号の見方

科目の分野を表すアルファベットの後、100 の位の数字が 1 の科目は難易度が最も低く、4 の科目は最も高くなります（およそその配当年次に相当します）。難易度が低い科目の履修から始め、次第に難易度の高い科目に移っていく必要があります。

例：ヨーロッパ史 WRD 204



分野 難易度

2. ほとんどの科目には JLPT の N1、N2 の取得が必要であるため、履修の要件（備考欄やシラバス）を確認してから登録すること。

2-27 証明書の発行

教務課で発行申請をしてください。原則、申請・受取りは窓口で行なってください。申請には下記の発行手数料が必要です。

証明書種別	発行日	発行手数料（和文・英文共通）
在学証明書	翌日	250 円
成績証明書	翌日	
単位修得見込証明書	翌日	
卒業見込証明書	翌日	
卒業証明書	翌日	
健康診断証明書	翌日	
出席証明書	3 日後	
外国人留学生奨学金支給見込証明書	翌日	2,000 円
学生証の再発行	翌日	

※尚、長期休暇中の特例として、各種証明書のなかで、発行日が翌日になっている証明書については、本学に来学して申請した場合は当日発行ができる。

【長期休暇中の証明書申込方法】

長期休暇中で窓口での申請ができない場合は、郵送による申請が可能です。次の必要事項を記入し、発行・返信手数料を同封して現金書留で教務担当宛に郵送してください。

＜必要事項＞

1. 学籍番号
2. 氏名
3. 生年月日
4. 使用目的
5. 携帯電話番号
6. 証明書の種類と部数

＜返信手数料＞

3 部以内 120 円

4 通以上 140 円（速達 280 円追加）（2020.3 現在）

証明書は大学に登録されている住所に送付します。

住所を変更した場合は、必ず住所変更届を提出してください。